

事業箇所総合評価シート

【担当課:道路建設課】

事業名	防災・安全交付金事業(道路改良)	路線名等	一般県道 <small>つきせみかだに</small> 月瀬三ヶ谷線
箇所名	山添村大塩～箕輪		

事業の概要	目的	一般県道月瀬三ヶ谷線は、一般県道上野南山城線と国道25号を結ぶ道路である。当該区間の道路拡幅を行うことにより、大塩地区、箕輪地区の指定避難施設である生涯学習施設「西豊館」への避難経路の確保及び地域交通の安全の確保を図る。		
	事業内容	【奈良県道路整備基本計画の位置付け】 「安全・安心を支える道路整備の推進」：災害に強い道路の整備		
	着手年度	平成29年度	完成年度(予定)	平成34年度

定性的評価	事業の必要性	<p>【必要性】</p> <p>①大塩地区の村指定避難箇所が、箕輪地区の生涯学習施設「西豊館」であるため、唯一の避難経路である月瀬三ヶ谷線の整備が急務</p> <p>②道路幅員が3.0mと狭隘な箇所があり、生活道路として支障をきたしている。</p> <p>③大塩集落と箕輪集落を結ぶ村営通学バスルートに指定</p> <p>【有効性】</p> <p>①事業中である大塩工区が、平成28年度に完成供用</p> <p>②大塩～箕輪間の整備により、緊急輸送道路である主要地方道奈良名張線から箕輪地区まで2車線確保</p>
	上位計画等	
	事業の有効性(事業により予想される効果及び影響)	<p>①当工区を整備することで、大塩～助命間が2車線整備完了</p> <p>②地域交通の安全性の確保</p>
	コスト縮減への取組み	
	地元情勢等	○村、地元自治会から継続した要望(H20～)

評価結果	左の理由
採択	本県東部地域における生活道路、及び指定避難施設へのアクセス道路として必要性、緊急性が認められる。

【位置図】

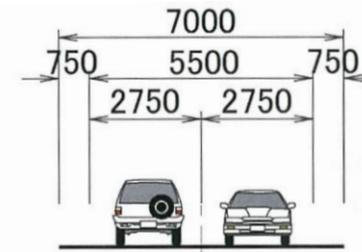


県道月瀬三ヶ谷線は、大塩地区から山添村指定避難場所である「西豊館」への唯一の道路



【現況道路幅員】W=3.0m ※写真④参照

【計画道路幅員(標準横断面)】



この地図は国土地理院の数値地図25000を転載(奈良県奈良土木事務所管内図平成23近複第110号)



〈箕輪住民の声〉

- ・道路の幅員が狭く、対向車が来たときはすれ違いが難しい。安心してすれ違えるように幅員を広くして欲しい。
- ・役場への通り道になっているので、工事中の箇所に引き続いて整備をすすめて欲しい。